

3 特別会計歳入歳出予算の概要

特別会計は、特定の事業を行う場合において、特定の歳入をもって特定の歳出に充てるなど、一般会計と区分して経理する必要がある場合に、条例で設置するものです。本県では第14表の事業について特別会計を設けています。

本年度の特別会計の歳入歳出予算総額は、224億5,824万円で、前年度の253億3,664万1千円に比べ、28億7,840万1千円、11.4%の減となっています。

第14表 特別会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成21年度 当初予算額(A)	平成20年度 当初予算額(B)	比 較	
			増 減 (A)-(B)	伸び率 (A)-(B)/(B)
交通災害共済事業	259,964	107,259	152,705	142.4
母子及び寡婦福祉資金貸付事業	194,658	191,957	2,701	1.4
小児心療センターあすなろ学園事業	1,053,970	1,058,629	△4,659	△0.4
農業改良資金貸付事業等	262,481	470,688	△208,207	△44.2
地方卸売市場事業	443,067	649,586	△206,519	△31.8
林業改善資金貸付事業	688,383	826,537	△138,154	△16.7
沿岸漁業改善資金貸付事業	229,302	214,001	15,301	7.1
中小企業者等支援資金貸付事業等	1,929,732	2,514,156	△584,424	△23.2
港湾整備事業	124,145	465,763	△341,618	△73.3
流域下水道事業	17,217,310	18,785,404	△1,568,094	△8.3
公共用地先行取得事業	55,228	52,661	2,567	4.9
合 計	22,458,240	25,336,641	△2,878,401	△11.4

(注) 中央卸売市場会計は、本年度から地方卸売市場会計に転換しました。

特別会計歳入歳出予算について、その概要を説明します。

(1) 交通災害共済事業特別会計

この会計は、交通事故による被害者の当面の窮状を救済し、その生活の安定を図るための共済事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億5,996万4千円を計上しました。

歳入については、交通災害共済基金利子555万9千円、交通災害共済基金繰入金2億5,420万円等を計上しました。

一方、歳出については、共済事業運営費5,461万5千円、交通安全意識高揚事業費2億534万9千円

等を計上しました。

(2) 母子及び寡婦福祉資金貸付事業特別会計

この会計は、母子家庭や寡婦（配偶者のいない女性で一定の条件を満たす方）に対し、経済的自立を図るため、各種資金を貸付ける事業の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額1億9,465万8千円を計上しました。

歳入については、貸付金の元利収入1億6,811万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、貸付金として1億9,416万円を計上しており、その他は貸付けに伴う運営経費です。

(3) 小児心療センターあすなる学園事業特別会計

この会計は、精神障がい児、情緒障がい児及び発達障がい児の心身の健全な発達を図るために設置された三重県立小児心療センターあすなる学園の収支を経理するもので、本年度は、歳入歳出総額10億5,397万円を計上しました。

歳入については、一般会計繰入金2億8,160万5千円、児童福祉法に基づく措置入園児童に係る措置費及び診療収入を1億4,134万1千円、それ以外の児童の入園、通園による入院及び外来収入等5億7,418万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、職員給与費等の人件費7億9,234万3千円、学園の運営経費として、2億5,725万1千円等を計上しました。

(4) 農業改良資金貸付事業等特別会計

この会計は、農業改良資金助成法等に基づく農業の担い手が農業改良措置（新たな農業部門の開始、新たな生産方式の開始等）に必要な資金と、新たに農業を開始しようとする青年農業者等が必要とする施設等の導入に掛かる資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億6,248万1千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入1億4,034万円、一般会計繰入金212万円等を計上しました。

一方、歳出については、農業改良資金貸付事業費1億5,452万5千円等を計上しました。

(5) 地方卸売市場事業特別会計

この会計は、生鮮食料品等の取引の適正化とその生産及び流通の円滑化を図るため開設し、本年度から中央卸売市場から地方卸売市場に転換するとともに、指定管理者制度を導入した三重県地方卸売市場の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額4億4,306万7千円を計上しました。

歳入については、県債2億6,300万円、一般会計繰入金1億2,275万9千円等を計上しました。

一方、歳出については、市場施設維持管理費3億3,101万8千円、公債費8,496万3千円等を計上しました。

(6) 林業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、林業・木材産業経営の改善、労働災害の防止並びに後継者の育成に要する必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額6億8,838万3千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入3億5049万8千円、県債8,079万1千円等を計上しました。

一方、歳出については、木材産業等高度化推進資金貸付事業費5億19万円、林業改善資金貸付事業費5,095万5千円等を計上しました。

(7) 沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計

この会計は、沿岸漁業経営の改善および後継者の育成に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額2億2,930万2千円を計上しました。

歳入については、貸付金償還金収入1億3,482万7千円等を計上しました。

一方、歳出については、沿岸漁業改善資金貸付事業費2億2,839万1千円等を計上しました。

(8) 中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計

この会計は、小規模企業者等設備導入資金助成法等に基づき、中小企業者等の近代化、高度化を促進するため、事業の共同化、店舗の集団化および設備の近代化等に必要な資金の貸付事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額19億2,973万2千円を計上しました。

歳入については、貸付金元利収入16億3,757万3千円、一般会計繰入金616万2千円等を計上しました。

一方、歳出については、小規模企業者等設備資金貸付事業貸付事業費5億1,235万2千円、小規模企業者等設備貸与事業貸付事業費5,180万5千円、高度化事業資金貸付事業費1,084万6千円等を計上しました。

(9) 港湾整備事業特別会計

この会計は、港湾埋立事業により取得した港湾施設及び施設用地の管理のほか、港湾整備事業に伴い借り入れた県債の償還金、利子等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額1億2,414万5千円を計上しました。

歳入としては、港湾施設使用料6,953万2千円、一般会計繰入金4,076万3千円等を計上しました。

一方、歳出については、管理費4,118万8千円及び県債の元利償還金8,295万7千円を計上しました。

(1 0) 流域下水道事業特別会計

この会計は、流域下水道各処理区の管理のほか、流域下水道事業の建設費、県債の元利償還金等の経費の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額172億1,731万円を計上しました。

歳入については、流域下水道事業費地元負担金61億3,775万5千円、国庫負担金54億7,600万円、県債34億7,964万6千円、一般会計繰入金20億9,422万5千円等を計上しました。

一方、歳出については、流域下水道建設費90億7,377万9千円、流域下水道管理費39億4,830万1千円、県債の元利償還金41億9,523万円を計上しました。

(1 1) 公共用地先行取得事業特別会計

この会計は、公共事業を行うため必要とする用地をあらかじめ取得する事業の収支を経理するもので、本年度は歳入歳出総額5,522万8千円を計上しました。

歳入については、利子収入5,250万6千円、財産貸付収入272万2千円を計上しました。

一方、歳出については、土地開発基金積立金5,522万8千円を計上しました。